



Coding Dog Free Guide

未経験からWeb制作で 初案件を目指すロードマップ

コーディング / WordPress / ポートフォリオ / 案件準備
初心者が最短で伸びるための順番を、犬先輩が整理しました。

ログと散歩が好きな中堅プログラマー犬

まず全体像をつかむワン

Web制作で最初に大事なのは、学習量よりも順番です。HTML/CSSだけを長く続けるより、早めに小さなページを公開し、WordPress化し、説明できる作品へ育てるほうが案件に近づきます。

1. 見た目を作る

HTML/CSSで1ページを崩さず作る。余白、幅、スマホ表示を重点的に見る。

2. 更新できる形へ

WordPressで投稿・固定ページ・お問い合わせの基本を扱えるようにする。

3. 作品として見せる

制作意図、担当範囲、改善点を言語化。作品は数より説明力。

4. 小さく営業する

提案文、見積もり、納品前チェックをテンプレ化して不安を減らす。

中堅犬メモ

教材を増やす前に、1つ公開する。

公開したページだけが、次の改善点を教えてくれます。完璧な学習計画より、小さな公開のほうが強いワン。

30日で土台を作るロードマップ

01

HTML/CSSで静的ページを1枚作る

ヘッダー、メインビジュアル、カード、CTA、フッターを入れる。まずは模写よりも「自分で1ページ組み切る」経験を作ります。

02

レスポンス対応を確認する

スマホ幅で文字がはみ出ないか、ボタンが押しやすいか、余白が詰まりすぎていないかを見る。

03

JavaScriptは小さな演出から

メニュー、スクロール、タブなど、案件でよく使うUIだけを優先。難しいアプリ制作へ寄り道しすぎない。

04

1ページを公開してURLで見せる

GitHub Pagesやサーバーに公開し、URLで人に見せられる状態にする。ここから改善が始まります。

一回ログ見ますポイント

伸び悩んだときは、何時間勉強したかではなく「何を公開したか」「どこで詰まったか」を記録すると改善しやすいです。

WordPress制作で押さえること

WordPressは、ただテーマを触るだけではなく「お客様が更新しやすい形」を作るのが大事です。最初は機能を増やすより、よくある構成を安定して作れるようにします。

項目	最初にできるようにすること	案件で見られるポイント
固定ページ	トップ / 会社概要 / サービス / お問い合わせ	導線が自然で、更新箇所が明確
投稿	お知らせやブログを追加・編集できる	一覧と詳細ページが崩れない
フォーム	送信、確認、通知メールをテストする	表示だけでなく送信まで確認
管理画面	必要な項目だけ触れる設計にする	運用する人が迷わない

中堅犬メモ: 本番前に見るところ

スマホ表示、フォーム送信、リンク切れ、画像の重さ、管理画面の触りやすさ。この5つを見るだけで、納品後の不安がかなり減ります。

初案件へ進む準備

初案件は、スキルだけでなく準備の差が出ます。提案前に、作品、説明、チェックリスト、連絡テンプレをそろえておくと落ち着いて動けます。

A

ポートフォリオは3作品より1作品の説明

何を目的に作ったか、どこを工夫したか、スマホでどう見せたかを言える状態にする。

B

提案文は短く具体的に

自己紹介、できること、近い制作例、確認したいことを入れる。長い熱意文より、相手の不安を減らす文。

C

見積もりは範囲を分ける

ページ数、フォーム、WordPress化、修正回数、納期を分ける。曖昧なまま受けない。

D

納品前チェックを持つ

公開直前に毎回同じチェックをする。自分の緊張ではなく、手順に任せるワン。

納品前チェックリスト

案件前でも、練習作品にこのチェックを使うと実務感が身につきます。チェックできる項目が増えるほど、自信も説明力も育ちます。

☐	PC / スマホの両方でレイアウトが崩れていない
☐	ボタン、リンク、ページ内リンクが正しく動く
☐	お問い合わせフォームが送信でき、通知メールも届く
☐	画像が重すぎず、表示が遅くなっていない
☐	WordPress管理画面で更新すべき場所がわかりやすい
☐	誤字脱字、日付、料金、会社情報を確認した
☐	修正範囲、納品日、公開後対応を相手と確認した
☐	納品前にバックアップを取った

最後に

最短で伸びる人は、才能がある人ではなく、詰まった場所を記録して次に直せる人です。今日も小さなPRで進むワン。